

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
29-62	中学校	道徳科	道徳	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳824	中学道徳2 きみがいちばん ひかるとき		

I. 編修の基本方針

生徒一人一人が、自ら考え共に学び合うことによって、
よりよく生きる力を育みたい

主体的・対話的で深い学びによって、生徒たちの豊かな道徳性が育まれることを切に願って、次の3つの基本方針を掲げて、編修しました。



1.

「考えたくなる！」

教材の中に引き込まれて思わず自分を重ねてしまう、考えずにはいられない教科書。



2.

「語り合いたくなる！」

道徳的な価値に気づき、自らの思いや考えを伝え、他者の考えも知りたくなる教科書。

3.

「動きだしたくなる！」

一人一人が成長し、自らの力を信じ、みんなと力を合わせて、動きだしたくなる教科書。



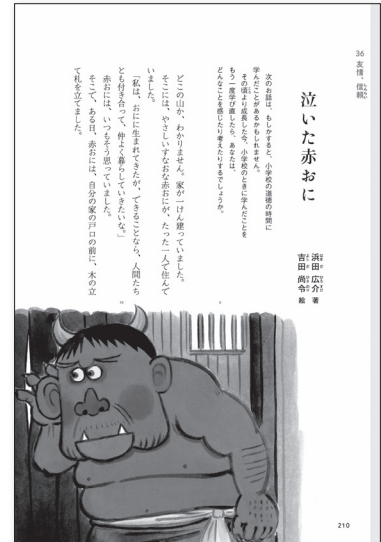
2. 「語り合いたくなる！」教科書

■無理なく自然に考えを表現し、対話ができるよう、教材を工夫しました。

- ・自我関与によって自分の気持ちに気づいたり、道徳的な問題についての解決策を考えたりすることが、自分の考えを他者に伝えたい、他者の考えも知りたいという思いにつながります。こうした自己表現や他者との対話への意欲をかき立てる教材を、工夫しました。
- ・付録「学びの広場」には、小学校の道徳での定番教材を補充教材として収録しました。中学生に成長した今の考えを改めて語り合うことで、深い学びにつなげることができます。



「1 テニス部の危機」(P.8-12)

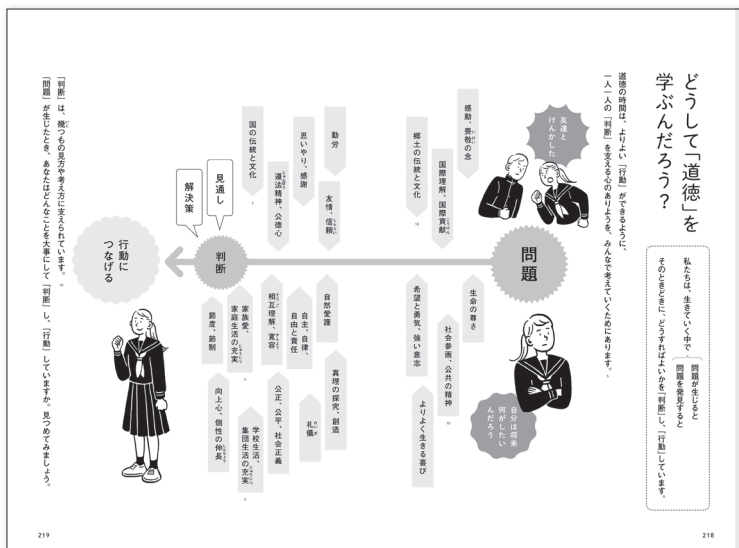


補充教材「36 泣いた赤おに」(P.210-215)

3. 「動きだしたくなる！」教科書

■自分に自信をもち、他者と力を合わせて行動したくなるような仕掛けを盛り込みました。

- ・私たちは、生きていく中で問題を発見したとき、そのときどきに判断し、行動しています。このことを「どうして『道徳』を学んだらう？」でわかりやすく図示し、道徳を学ぶ意義を明確化しました。
- ・教材のてびきには、自分の気づきや心に残った他者の発言などを書き留めることができる「私の気づき」を、巻末の折込には、1年間を通じて自分の考えを書き留め振り返ることができる「学びの記録」を設けました。折込は切り離して使えるので、教師が生徒の学びを見取る際にも活用することができます。



「どうして『道徳』を学んだらう？」(P.218-219)

「学びの記録」(P.225-228)

II. 「教育基本法」との対照表

図書の内容		特に意を用いた点や特色		該当頁
「対話」で広がる、道徳の時間		他者と意見等を交流しながら考えを深めていくことや、自分自身と向き合っ課題に取り組むことの大切さを意識づけるページ。		【第一号】 45
本書で学ぶ皆さんへ		それぞれの教材に示されたテーマについて主体的で対話的な学びを深めていけるよう、本書の基本的なてびきの構成を説明するページ。		【第一号】 6
シズン1 上級生として生活する	1 テニス部の危機	価値観の違いから、部活動内の人間関係に悩む生徒の姿を描いた物語を通して、よりよい集団にするための一人一人の在り方を考えることができる。	【第三号】	8-12
	2 夢中になるのは悪いこと?	中高生を対象にした自由な時間に関する調査結果と、インターネット依存に関する新聞記事を通して、規則正しい生活の大切さについて考えることができる。	【第一号】	13-17
	コラム 情報モラル	ネットへの依存度を調べるチェック項目や対策を確かめ、携帯電話やスマートフォンの適切な利用のしかたを考えることができる。	【第一号】	18-19
	3 三百六十五×十四回分の「ありがとう」	心臓病を患う14歳の少女が、手術の直前に母親に宛てて書いた手紙を通して、家族に対する感謝や敬愛の念について考えることができる。	【第三号】	20-24
	4 命が生まれるそのときに	命をテーマにした詩と、出産現場を撮影するフォトグラファーの写真や文章を通して、生命の尊さを考えることができる。	【第四号】	25-29
	5 友達はライバル	同じ部活動に入部した友達に対し、焦りや嫉妬を感じる生徒を描いた物語を通して、友情の大切さを考えることができる。	【第三号】	30-33
6 雪に耐えて梅花麗しー黒田博樹	広島のプロ野球チームを優勝へと導いた黒田博樹投手の姿を描いた文章を通して、目標を達成するために必要な心の在り方や行動について考えることができる。	【第二号】	34-39	
コラム 人と人との関係づくり	職場体験や校外学習などで、大人と接するとき気をつけるべきことを確かめ、社会生活に必要な身だしなみや振る舞いを身につけることができる。	【第二号】	40-42	
シズン2 他者を意識して 大きく守る	7 カラカラカラ	電車内の空き缶を見過ごしてしまったことに後ろめたさを感じる生徒の物語を通して、自主的に責任ある行動を取ることの大切さを考えることができる。	【第二号】	44-47
	8 違うんだよ、健司	性格や考え方が異なる3人の交友を描いた物語を通して、信頼し、励まし合える友達の存在について考えることができる。	【第三号】	48-53
	9 民主主義と多数決の近くて遠い関係「確かめよう」	民主主義と多数決の違いについて書かれた文章を通して、集団や社会の中で合意形成するとき、重視すべきことについて考えることができる。	【第三号】	54-58
	10 松葉つえ	松葉つえを突く転校生と生徒たちとのやり取りを描いた物語を通して、他者を思いやる心について考えることができる。	【第三号】	62-67
コラム いじめについて考える	「いじめ」を受けている側と、行っている側のそれぞれの立場から、感じ方の違いを考え、身近に「いじめ」につながる言動がないかどうか振り返ることができる。	【第三号】	68-69	
11 つながる命	臓器移植に関する新聞記事と資料を通して、生命の尊さや家族愛について考えることができる。	【第四号】	70-72	
シズン3 働くことについて考える	12 段ボールベッドへの思い	東日本大震災のとき、避難者のために無償で段ボールベッドとその設計図を提供した会社の方の話を通して、働く意味や社会貢献について考えることができる。	【第二号】	74-78
	13 スカイツリーにかけた夢	東京スカイツリーの設計士が、設計の依頼から完成までの間に直面した問題と、それに立ち向かう姿を描いた実話を通して、真理を求める創造的態度を養うことができる。	【第二号】	79-83
	14 夢を求めてパラリンピック	パラリンピックで数々の新記録を樹立し、金メダリストとして活躍する成田真由美さんの実話を通して、困難を乗り越える強い意志について考えることができる。	【第二号】	84-89
	コラム 共生	アダブテッド・スポーツの記事を通して、年齢、性別、障害の有無などによらず、誰もが共に楽しめるというその考え方を考えることができる。	【第三号】	90-91
	15 秀さんの心	職場体験での造園業の職人と生徒とのやり取りを描いた物語を通して、礼儀の意味を考えることができる。	【第二号】	92-96
	16 ジコチュウ	クラスメートの言動を自己中心的だと誤解した生徒の物語を通して、考えや立場の違いを尊重し合うこと大切さを考えることができる。	【第三号】	97-101
シズン3 地域の将来について考える	17 ちがいの意味を見直す	日本とバングラデシュの社会の違いについて述べた文章を通して、主体的に他者や社会と関わっていくこと大切さを考えることができる。	【第三号】	102-106
	18 私の町	新潟県の伝統行事「村上大祭」や、「町屋の人形さま巡り」についての文章を通して、郷土の伝統と文化について考えることができる。	【第五号】	107-111
	コラム 社会参画	地域と連携して、防災に取り組む中学校の活動を紹介して、主体的に地域社会の形成に参画してゆく態度を養うことができる。	【第三号】	112-113
	なんだろう 寛容なもの	「許す」ことについてさまざまな角度から問うヨシダケシンスケさんの絵と文を通して、自己や他者、社会に対する柔軟で寛容なものについて考えることができる。	【第一号】	114-115
シズン3 環境について考える	19 僕の仕事場は富士山です	富士山のガイドをする近藤光一さんによる文章を通して、環境保全への意識を養うことができる。	【第四号】	116-121
	コラム 環境	慶良間諸島国立公園、尾瀬国立公園を写真と共に紹介して、自然の魅力や伝えるための取り組みや、保護活動について考えることができる。	【第四号】	122-123
	20 宇宙の始まりに思いを寄せて	「ヒミコ」とよばれる天体を発見した天文学者・大内正己さんの文章を通して、自然や崇高なものに対して感動する心が人に与える力について考えることができる。	【第一号】	124-129
	21 さよなら、ホストファミリー	留学体験を経て、日本の歴史や文化に向き合うようになった生徒の物語を通して、自国の伝統文化や社会の在り方を理解すること大切さを考えることができる。	【第五号】	130-134
	22 明日、みんなで着よう	「ピンクジャツデー」といういじめ反対運動を、世界に広めたカナダの生徒たちの実話を通して、身の回りいじめが起ったとき、どう行動するかについて考えることができる。	【第三号】	135-139
	23 アンネのバラ	アンネ・フランクの父親から贈られた「アンネのバラ」を育て続けている中学校の取り組みを描いた実話を通して、国際交流や世界平和について考えることができる。	【第五号】	140-145
シズン3 世界平和について考える	コラム 国際理解	「国境なき医師団」の仕事写真と共に確かめ、国際的な人道支援や世界平和について考えることができる。	【第五号】	146-147
	24 「許せないよね」	インターネット上の匿名の書き込みがきっかけになって起こった、生徒間の行き違いを描いた物語を通して、自分の言動に責任をもつこと大切さを考えることができる。	【第二号】	148-152
	25 あと一歩だけ、前に	スガシカオさん作詞の「Progress」を通して、自分自身を見つめ、希望をもって生きていくこと大切さを考えることができる。	【第二号】	153-156
	26 優しさの光線	将来の夢が見えず、自信を失っている生徒の姿を描いた物語を通して、自分を見つめ直し、自己肯定感を養うことができる。	【第二号】	157-162
シズン4 自分を振り返る	27 「桃太郎」の鬼退治	昔話「桃太郎」と、それを鬼の子供の視点から捉えた広告作品を比較して、立場の異なる者どうしが、互いを理解し合うときに必要なことについて考えることができる。	【第三号】	164-167
	28 箱根駅伝に挑む	箱根駅伝で優勝を果たした選手たちの寮生活の様子について書かれた文章を通して、自らを律し、節制しながら生活すること大切さを考えることができる。	【第一号】	168-172
	29 人って、本当は?	孟子の「性善説」、荀子の「性悪説」を通して、人のもつ強さや弱さを見つめ、よりよい生き方について考えることができる。	【第二号】	173-176
	30 嫌われるのを恐れる気持ち	他人に嫌われるのを恐れ、本心を表に出せないことに悩むある生徒の相談の手紙を通して、自己の在り方やこれからの生き方を考えることができる。	【第二号】	177-179
シズン4 学校の最上級生となる	31 気づかなかったこと	社会の否定的な面ばかりを見ていた生徒が、肯定的な面に気づく姿を描いた漫画を通して、他者への思いやりや感謝の気持ちの大切さについて考えることができる。	【第三号】	180-185
	32 クロスプレー	草野球の審判を引き受けた警官と子供たちとのやり取りを描いた五味太郎さんの物語を通して、規則を尊重し、公正な心をもつこと大切さを考えることができる。	【第三号】	186-191
	33 紙芝居	ボランティアで紙芝居を上演することになった生徒たちの物語を通して、自ら社会に関わっていく態度を養うことができる。	【第三号】	192-197
	34 泣きすぎはいけない	誰もが経験する大切な人との「別れ」と祖父から孫への心に残るメッセージを通して、生きることについて考えることができる。	【第四号】	198-204
	35 無人スタンド	野菜販売の無人スタンドで適正な料金を支払わずに立ち去った少年に声をかけられなかった男性の姿を描いた物語を通して、規律のある社会や公德心について考えることができる。	【第三号】	206-209
	36 泣いた赤おに	赤おにと青おにの友情を描いた浜田広介さんの物語を通して、友情の在り方について考えることができる。小学校で既習の物語であり、自らの考え方の変化や成長を確かめることができる。	【第三号】	210-215
その他	本編の内容に関連した資料、道徳を学習する意義や学習内容を振り返るページ、また、自己評価を書き込めるページを設け、主体的に道徳心を養っていける教材を設けた。	【第一号】	216-228	

Ⅲ. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 全ての生徒にとって使いやすく、わかりやすく

特別支援教育への配慮

教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の観点から、専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

学習上の配慮

文字について

- ・文字の大きさは、発達段階、教材の内容によって、十分に配慮しました。
- ・文字の書体は、本文は原則として、書き文字への配慮を施した明朝体活字を用いました。

表記について

- ・読みの負担を軽減するため、常用漢字については、固有名詞等を除き、全てに振り仮名を付しました。
- ・読みやすさに考慮し、熟語の混ぜ書きを極力避けました。そのため、常用外漢字を用いる場合には、その熟語全体に、振り仮名を付しました。

仕様について

- ・中学生の教科書等の持ち物全体の重量に鑑み、持ち運びやすいB5判を採用しました。
- ・本文用紙は、堅牢ながら軽く、裏写りしにくい、環境に配慮した紙を採用しました。
- ・レイアウトについては、読みやすく美しい文字組、本文と挿絵とのめりはりある配置、教材間の区切り目をわかりやすくするなど、見やすい紙面構成にしました。

人権上の配慮

教科書全般にわたって、教材や挿絵に登場する人物や執筆者について、性別による偏りがないようにしました。また、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用いるとともに、人権に配慮した記述としました。

② 今日的な課題について、考えを深めていけるように

「いじめ問題」について

全学年に、さまざまな内容項目から「いじめ問題」の解決に結び付く教材、また、コラムを用意しました。「いじめ」をしない、させない、見過ごさない姿勢が系統的に育成できるように工夫しました。2年のコラムには、いじめの悩み相談から考える『『いじめ』と『いじり』』(P.68-69)を掲載しました。

情報モラルについて

全学年に、情報モラルの内容を扱ったコラムを読みもの教材と組み合わせて提示し、道徳科の特質を踏まえたうえで、情報モラルについて深く考えることができるように工夫しました。2年のコラムでは、自分のネット依存度をチェックできる「ネット依存について考えよう」(P.18-19)を掲載しました。

地域や伝統を大切に

日本の郷土や文化を慈しみ、地域の伝統文化を大切にすることを育むために、さまざまな地域の題材や伝統文化を取り扱った教材、および付録を全学年に掲載しました。自分とは関わりの少ない地域の事例の場合でも、自分の住む地域につながられるよう、てびきも工夫しました。2年の付録では、「日本各地の世界遺産」(P.216-217)を取り上げました。

編修趣意書

学習指導要領との対照表、配当授業時数

※受理番号	学校	教科	種目	学年
29-62	中学校	道徳科	道徳	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳824	中学道徳2 きみがいちばん ひかるとき		

I. 編修上特に意を用いた点や特色

1 道徳の学びと出会う

●生涯、大切にしたい教科書に

教科書を開くと、作家あさのあつこさんによる書きおろしの巻頭詩が、まず生徒に語りかけます。そこには、生徒と同じように思春期を生きる語り手（主人公）の、等身大の気持ちが描かれています。その主人公が、学び手である生徒と共に考え悩む一人として、各「シーズン」（詳細：本資料P.2）のとびらページでも生徒たちに語りかけます。

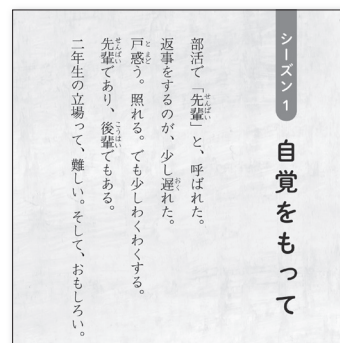
巻頭詩（見返し-P.1）



また、教材のてびきなどに設けた書き込み欄（詳細：本資料P.3）は、生徒自身の学びの記録であり、成長の証となります。巻頭詩から始まり、各とびらページの語りかけも含め、教科書全体が、1冊の物語のように、生徒と共に成長していく構成となっています。生徒にとってかけがえのない中学生時代をいっしょに過ごす教科書として、生涯大切な1冊となることを願って編修しました。

●道徳の授業開き

学年の冒頭には、生徒が「他者」と、そして「自己」と「対話」しながら、主体的に考えるのが道徳の授業であることを示す、『対話』で広がる、道徳の時間」を設けました。対話することで考えが深まっていくという道徳の授業の本質を生徒がつかめるよう、紙面を工夫しました。



とびらページの語りかけ（P.7 シーズン1）



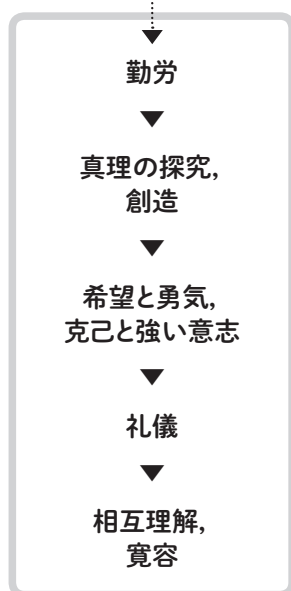
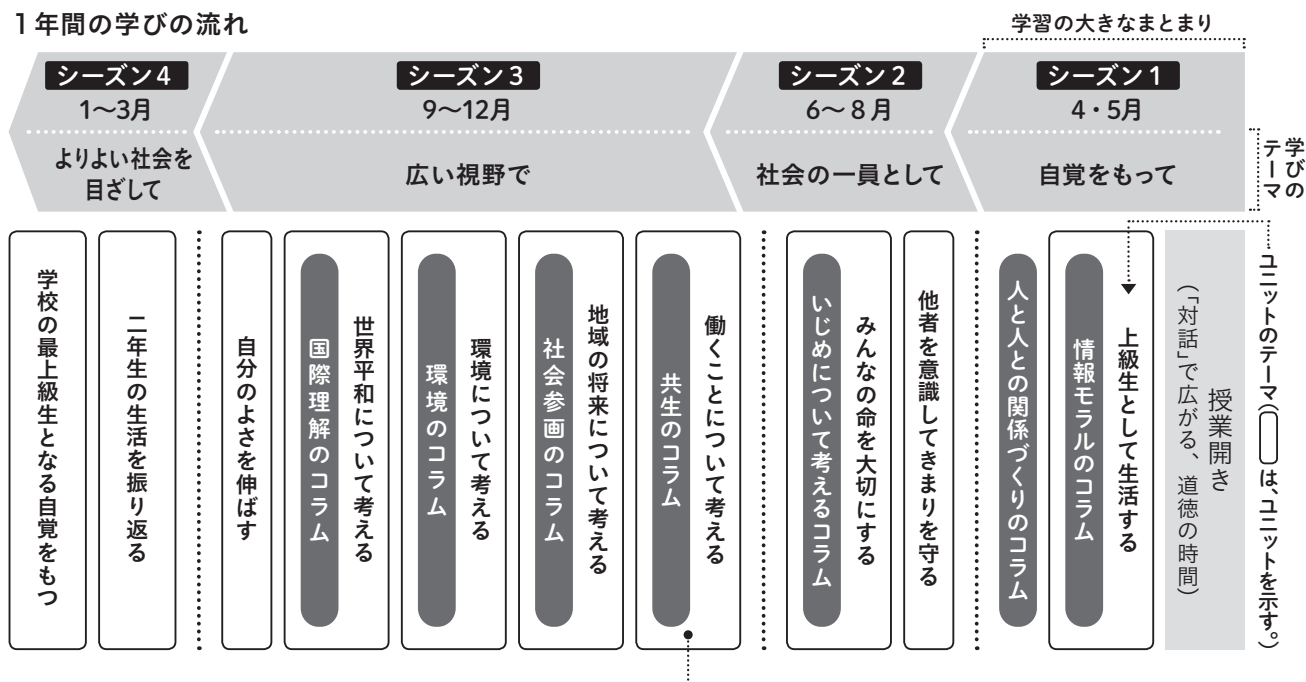
『対話』で広がる、道徳の時間」（P.4-5）

2 1年間の道徳の学びの流れ

● 4つの「シーズン」——1年間の4つの「学習の大きなまとまり」に分けました

学校生活の実態と、それに伴う生徒の成長を考慮して、年間の学習を4つの「シーズン」(まとまり)に分けました。シーズンの始まりには、とびらページを設け、生徒が新たな気持ちで学習に入っていけるよう配慮しました。とびらページには、シーズンごとに「学びのテーマ」と、作家あさのあつこさんによる語りかけの言葉を掲げています。

1年間の学びの流れ



シーズン3「働くことについて考える」での流れ

● 教材の「ユニット」化——教材を内容項目に応じて関連づけました

シーズンの中には、学びのテーマに応じて「ユニット」を設けています。ユニットは、複数の教材で構成されており、「ユニットのテーマ」に沿って、内容項目間の関連を意識した配列にしました。1時間の学びが、単独ではなく、有機的に結びつくよう配慮していますので、ユニットを通して効果的に学ぶことが期待できます。例えば、シーズン3「広い視野で」の「働くことについて考える」というユニットでは、働くことの意味について考えたうえで、真理を探究することや、強い意志で困難を乗り越えることの大切さについて学びます。また、職場体験の物語から礼儀の意味を考え、さらに考えや立場の違いを尊重することについて学ぶことで、社会に出て働くことに対する心構えなどについて考えを深めていくという、学びの流れになっています(左図)。さらに、これらのユニットは、P.224に示した「この教科書が目ざした2年生の姿」に向かう構成となるよう意識しています。

もちろん、これらの配列は絶対的なものではなく、各学校の教育目標に照らして、他の教材と差し替えることも並び替えることも可能です。

● 情報モラルと現代的な課題への対応

情報モラルと現代的な課題への対応として、「情報モラル」「いじめ問題」「共生」「社会参画」「環境」「国際理解」と、「人と人との関係づくり」のこつを示したコラムを設けました。直前に配されている教材と関連させて扱うことも、独立させて扱うことも可能です。各学校で計画的、発展的な扱いとして活用することができます。

3 「考え、議論する」授業を構成するための要素

●教材ごとに「てびき」を用意——てびきは次の5つの要素で構成しました

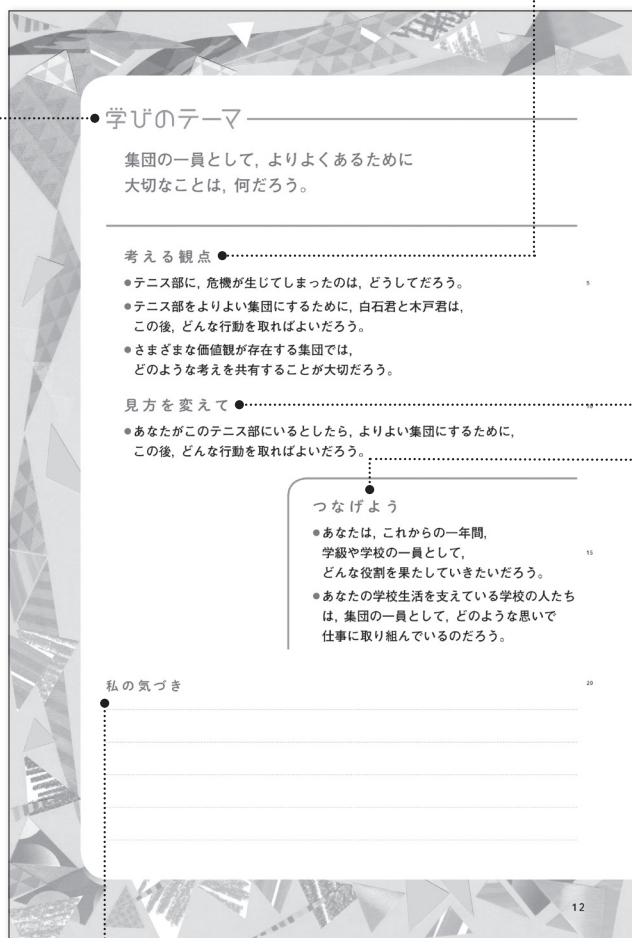
・学びのテーマ

生徒が、教材を通して何を学ぶのか（めあて）をはっきりと意識することができるよう示しました。

・考える観点

「学びのテーマ」に迫るため、主に次のような3つの発問を設定しました。

- ①道徳的な問題を明らかにする問い（課題の設定）
- ②道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い
- ③自分に引きつける問い・テーマ的な問い（価値の一般化を意識した問い）



・見方を変えて

生徒が、**多面的・多角的**な見方や考え方ができるよう、「考える観点」とは視点を変えた問いを設定しました。

・つなげよう

該当の内容項目での学びをさらに深める観点、他教科や学校生活との関連、同じ内容項目の他教材との関連、異なる内容項目との関連、関連する図書の紹介等を、教材の特質に合わせて示しています。道徳の学びが1時間の授業で終わってしまうのではなく、そこからさらに深く考えたり、行動につなげたりできるよう工夫しました。

・私の気づき

1時間1時間、授業で学んだことから、感じたことや考えたことを書き留められるコーナーを設けました。生徒が、学んだことを振り返り、**自身の変容を実感**することができます。

巻末に「学びの記録」を用意しました。教材ごとに書き留めてきた「私の気づき」を見返しながら、シーズンごとに、そこまでの自分の学びの変化や成長について振り返り、記録できるページです。生徒の**自己評価**を通して、教師が**長期的に生徒の成長を見取ったり、また評価の材料として活用したり**することができます。

4 教材化の配慮と工夫

● 発達段階に即した指導内容の重点化

全学年を通して、特に「生命を大切に作る心」の育成に重点を置き、「生命の尊さ」に関する教材をどの学年にも3つずつ掲載しました。発達段階に即して、誕生の喜びや臓器移植や尊厳死など、さまざまな観点から「命」について、学びを深めることができます。

また、学習指導要領に示されている指導内容の重点化に留意し、「自主、自律、自由と責任」「節度、節制」「向上心、個性の伸長」「希望と勇気、克己と強い意志」「よりよく生きる喜び」「遵法精神、公德心」に関する教材は学年2つずつとし、「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」「国際理解、国際貢献」に関する話題についても随所に取り上げ、教材化するよう配慮しました。

● 生徒の興味を引き出す工夫

▶ 「なんだろう なんだろう」

1年には『『正義』って、なんだろう。』、2年は『『ゆるす』って、なんだろう。』、3年では『『自立』って、なんだろう。』というテーマを設け、作者（ヨシタケシンスケさん）と問答ができるようなページを設けました。複数の道徳的価値が含まれた内容として、「考えること」を難しく捉えず、楽しむことができるよう工夫しました。



P.114-115

▶ 「人と人との関係づくり」(コラム)

全学年のシーズン1の終わりに、道徳的行為に関する体験的な学習として、人とよりよい関係を築くための「こつ」を身につける取り組みを提示しました。2年では、職場体験や校外学習などで、家族や先生以外の大人と関わることが多くなる実態を考え、大人に接するとき気をつけたい言葉遣いや話し方などについて考える「大人と接するとき」を掲載しました。学年の早い時期に設定することで、その後の生活でのヒントになるよう配慮しました。また、年間を通して、随時学級活動の時間に取り組むことも可能です。

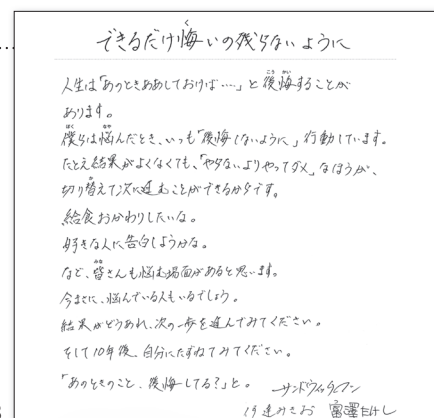


P.40-42

▶ 「あなたへのメッセージ」(巻末付録)

全学年の付録に、現在、各分野で活躍している人物からの、生徒に向けたメッセージを掲載しました。

- 1年 ヤマザキマリ (漫画家)
松岡修造 (プロテニスプレーヤー)
- 2年 サンドウィッチマン (お笑い芸人)
南谷真鈴 (冒険家)
- 3年 西加奈子 (小説家)
山極寿一 (人類学、霊長類学者)



P.222-223

Ⅱ.「学習指導要領」との対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				内容項目	該当頁	配当時数	
	視点							
	A 主として自身に 関すること	B 主として人との 関わりに関する こと	C 主として 集団や社会との 関わりに関する こと	D 主として生命や自然、 崇高なものとの 関わりに関する こと				
巻頭詩						見返し-1		
「対話」で広がる、道徳の時間						4-5		
本書で学ぶ皆さんへ						6		
シーズン1 (四月から五月)	1			○	(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	8-12	1	
	2	○			(2) 節度、節制	13-17	1	
	3			○	(14) 家族愛、家庭生活の充実	20-24	1	
	4				○	(19) 生命の尊さ	25-29	1
	5		○			(8) 友情、信頼	30-33	1
	6	○				(4) 希望と勇気、克己と強い意志	34-39	1
シーズン2 (六月から八月)	7	○			(1) 自主、自律、自由と責任	44-47	1	
	8		○			(8) 友情、信頼	48-53	1
	9			○	(10) 遵法精神、公德心	54-58 59-61	2	
	10		○		(6) 思いやり、感謝	62-67	1	
	11				○	(19) 生命の尊さ	70-72	1
シーズン3 (九月から十一月)	12			○	(13) 勤労	74-78	1	
	13	○			(5) 真理の探究、創造	79-83	1	
	14	○			(4) 希望と勇気、克己と強い意志	84-89	1	
	15		○		(7) 礼儀	92-96	1	
	16		○		(9) 相互理解、寛容	97-101	1	
	17			○	(12) 社会参画、公共の精神	102-106	1	
	18			○	(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	107-111	1	
			○		(9) 相互理解、寛容	114-115		
	19				○	(20) 自然愛護	116-121	1
	20				○	(21) 感動、畏敬の念	124-129	1
	21			○	(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	130-134	1	
	22			○	(11) 公正、公平、社会正義	135-139	1	
	23			○	(18) 国際理解、国際貢献	140-145	1	
24	○			(1) 自主、自律、自由と責任	148-152	1		
25				○	(22) よりよく生きる喜び	153-156	1	
26	○				(3) 向上心、個性の伸長	157-162	1	
シーズン4 (二月から三月)	27		○		(9) 相互理解、寛容	164-167	1	
	28	○			(2) 節度、節制	168-172	1	
	29				○	(22) よりよく生きる喜び	173-176	1
	30	○			(3) 向上心、個性の伸長	177-179	1	
	31		○		(6) 思いやり、感謝	180-185	1	
	32			○	(11) 公正、公平、社会正義	186-191	1	
	33			○	(12) 社会参画、公共の精神	192-197	1	
	34				○	(19) 生命の尊さ	198-204	1
学びの 広場	35			○	(10) 遵法精神、公德心	206-209		
	36		○		(8) 友情、信頼	210-215		
	その他	○	○	○	○	216-228		
						合計時数	35	